

カーボンオフセットの仕組み

例) このチラシ (A4 両面4色 500枚) をカーボンオフセットしよう!

● 各工程で発生するCO₂排出量を計算

1 資材 ▶

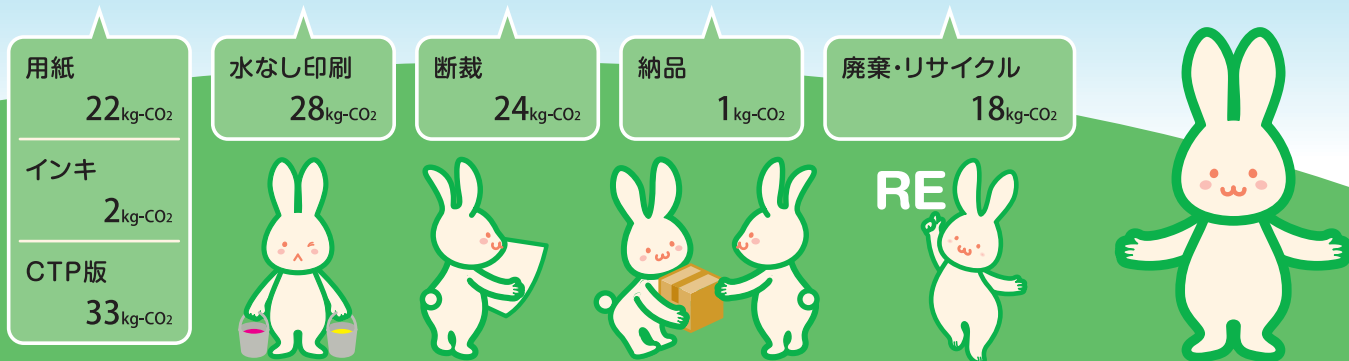
2 印刷 ▶

3 加工 ▶

4 納品 ▶

5 廃棄・リサイクル

$$57 \text{ kg-CO}_2 + 28 \text{ kg-CO}_2 + 24 \text{ kg-CO}_2 + 1 \text{ kg-CO}_2 + 18 \text{ kg-CO}_2 = \text{合計 } 128 \text{ kg-CO}_2$$



● 排出権を購入



確実なカーボンオフセットのために

正しいカーボンオフセットを行うためには、正しい手続きが必要です。そのために、今回新日本印刷は、現在最も科学的な環境への影響の評価方法の一つとされている「※ライフサイクルアセスメント」の考え方に従って、制作過程で出るCO₂の量を計算しました。また、排出権にもたくさんの種類があります

が、カーボンオフセットのサービスを扱う専門業者(=プロバイダ)を通して、国連が認めた事業(京都議定書におけるクリーン開発メカニズム)による、信頼のおけるものを購入しています。

※ライフサイクルアセスメント:ある商品で、原料調達してからリサイクルするまでの間に、どのくらい環境に影響を与えるか(資源・エネルギーの消費、廃棄物の排出や環境汚染など)を評価、検討。より環境に影響の出ないようにしようという考え方。

Topics

水なし輪転印刷機での消費電力量の計測開始 (2010年4月)



〈測定画面〉

A横全両面4色オフセット輪転機 (SYSTEM 385)
平行折出し パターンバーフォレーター・シーター付



稼働中の印刷機から発生されるCO₂排出量の算出では、印刷機の電力量を定格値ではなく実測値を用いることにより正確なCO₂排出量を求めることができます。日本水なし協会様のご協力のもと現在継続中です。